

# 市立病院の救急医療体制を問う

松竹 秀樹 議員

からの採用について考えがあるのか。

**市立病院総務課長** 医療事務に精通する医事課長と病院経営の管理監督業務を経験し、経営改善に実績のある総務課参事、この2人を幹部職員として採用する。

## B級グルメを おもてなしの1つに

**問** 市内の特産品・B級グルメと呼ばれるものにはどのようなものがあると思うか。

**市長** B級グルメに関して

**問** 八女・筑後保健医療圏域における2次救急医療の強化についてどう考えているか。

**市立病院総務課長** 病院では救急外来に、内科系・外科系の医師をそれぞれ1名、夜間においても同様に配置して、看護師や検査技師等の職員についても必要な体制をとりながら、救急患者の対応に当たっている。

**問** 4月から独立行政法人としてスタートする。職員の採用について外部から入って経営を刷新したいというのだが、具体的な外部



ちくごフライングドッグ

は、現時点では、B1グレードンブリへ出場するほどのものは育っていない。商工会議所を中心に御当地グルメの開発として「フライングドッグ」に取り組んでいる。

**商工観光課長** そのほかの候補として、イベントの際に提供している地元ナシを使ったナシカレーとかナシカレーパンがある。

船小屋のもてなし隊が、イベントのとき船小屋に昔あったしょうゆベースのお好み焼きを再現した「復刻昭和お好み焼き」、通称「ぶなご焼き」を提供している。

# 高すぎる国保税の引き下げを

貝田 義博 議員

## 特別扱いの 同和行政は廃止すべき

**問** 市政アンケートでは89%が同和行政を廃止および一般施策への移行を求めている。同和行政を廃止する考えはないのか。

**市長** 今後は一般対策を基本に事業全般を縮小し、教

育啓発が主体となる。

**問** 筑後地区解放会館への運営補助金で同和団体が宣伝車を購入する問題はどうなったのか。

**市民生活部長** 購入しないとの正式報告は受けていない。平成22年度の決算を待つて購入の有無を確認し、補助金の扱いは協議する。

**問** 市内1万戸に対して共産党が実施した「市政アンケート」で一番負担が重いという回答が国保税であった。福岡市では一般会計による財政支援で、1世帯2,000円の引き下げを表明している。

高すぎる国保税に対する認識と引き下げに向けた財政支援を行う考えはないか。

**市長** 所得に占める国保税の割合は13%と確かに低くはない。

**市民課長** 一般会計の基金を取り崩して国保税を引き下げることは、基金の趣旨とも異なり総務省通知もあることから難しい。

**問** 福岡市は国の意向より市民の実情を優先し、一般会計で財政支援を実施する考えを国保運営協議会に打診したもので、当市では考えないのか。

**市民課長** 国保会計はあくまで独立採算が原則であり、法定の公費の負担以外は保険料で賄うのが原則である。

福岡市は国保料引き下げ